

令和 7 年 9 月 1 2 日

令和 8 年 度 予 算 編 成 方 針

下関市長 前 田 晋 太 郎

本市においては、これまで子育て強力支援「For Kids For Future」を最重要施策として掲げ、子育て世帯を支援するため、学校給食費や子ども医療費助成の完全無償化など、きめ細やかな子育て環境の整備を行ってまいりました。

また、本年 4 月には、下関市立大学に新たに看護学部を開設し、8 月には、海響館をリニューアルオープンしました。さらに、1 1 月には、火の山公園のアスレチックが、1 2 月には、星野リゾートのホテルがオープンする予定であり、あるかぼーとや火の山に新たな人の波が押し寄せ、魅力と活力にあふれ、賑わいに満ちた、下関の新たな景色が見えてきました。

一方で、現在、世界的な原材料価格の上昇に端を発する物価高騰が続いており、市民の暮らしや企業の活動に大きな影響を及ぼしています。

また、少子高齢化や若者の市外流出、生産年齢人口の減少による人手不足など乗り越えなければならない課題がいまだ山積しています。

さらに、気候変動による異常気象の影響により、近年大規模な豪雨災害が発生しており、市民の安全を確保し、安心して暮らせるよう、災害に強いまちづくりは喫緊の課題となっています。

そのため、引き続き物価高騰対策や子育てしやすい環境整備、まちの魅力向上に取り組むとともに、防災減災対策を進める必要があります。

令和８年度当初予算は、今年度から新たにスタートした第３次総合計画に基づき「可能性を築くまち」に向けた施策を進めるため、１０年後を見据え、施策の目標達成に向け、優先順位を整理し、貢献度の高い事業への重点化を図るとともに、これまでの取組で花開いた、様々な戦略に実を結ばせ、本市の未来を担う若者世代が、挑戦し、活躍することができる環境を整えるステージに向けた予算としなければなりません。

本市の強みであるボートレース未来基金、ふるさとしものせき応援基金等の財源を有効に活用し、可能性を築く未来につながる「わくわく感」と災害に負けない穏やかな暮らしにつながる「あんしん感」を高め、市民が自分のまちとして誇りと愛着を持ち、住み続けたいと思う「希望の街・下関」の実現に向け、令和８年度当初予算編成を行っていきます。